

過去の出題傾向について確認しておこう！

京大入試研究[地学]

▶ 出題一覧表

過去10年の京都大学の入学試験(地学)で出題された分野を、次の表にまとめた。

| | I | II | III | IV |
|------|-------------------------------------|---|--------------------------------------|---|
| 2016 | 恒星からの光 脈動変光星 | コリオリの力 潜熱輸送 | 原始地球の構造 放射年代測定 | 地層の分析 古生物 岩石の構造 |
| 2015 | 太陽, HR 図 恒星の進化と寿命 | 大気鉛直構造 フェーン現象 | プレートテクトニクス マントルの相転移 | 地球環境の変遷と地層 |
| 2014 | 黒点による恒星の減光 | 温室効果 大気循環と海流による熱 輸送 | 地震の初動と震源の関係 ホットスポット | 地下の褶曲構造 ボーリング柱状図 |
| 2013 | 主系列星の光度と数密度 | 太陽エネルギーの変化 楕円軌道上の離心率と光 度による違い | 固体地球の層構造 地磁気の逆転 | 岩石・鉱物 地層と堆積構造 |
| 2012 | 天体の距離 宇宙背景放射 銀河座標 | 地球型惑星の表面状態と 熱収支 水の存在形態 | プレート運動と火山活動 地震の初動と震央の位置 関係 | 地質図と歴史 付加体とメランジュの堆積構造 地質断面図 |
| 2011 | 主系列星の進化 林トラック | 断熱減率と相対湿度 | プレートと地震 地下断面図 | 風化侵食作用 淘汰 プレート運動と大構造 |
| 2010 | 太陽の表面構造とコロナ | 地球磁場とプラズマの作用 | 放射年代 地質断面図 | 造山帯の歴史 地質図 |
| 2009 | 銀河の質量 | 地球における大気や海洋 の流れ | プレートテクトニクス | プレート運動 火山フロント |
| 2008 | 超新星爆発とニュートリ ノによる観測 | 海水のアイソスタシーと コリオリの力 地衡流の原理 | 地震波 地震の発生と予知 | 地殻の沈降と堆積面 火成岩の組織 |
| 2007 | ブラックホールを中心と する連星 ケプラーの第二法則の応用 | 地球上の緯度による太陽 放射の受熱量の違い 大気圏の温度分布とその 原因 | 地下の温度・圧力分布と 鉱物の安定領域 代表的な鉱物の相変化 | 地質図とルートマップ 露頭のスケッチ 地質構造と地質図 堆積構造 |

▶ 分析と対策

京都大学の入試問題は、深い知識と理解、計算力・論述の力が問われている。日頃、教科書を中心にどれだけ丁寧に学んでいるかがポイントとなる。また、時間に対して設問が多く、全問を解答しようとする時間が足りなくなる。手早く解く力を身につけることに加え、自分にとっての難問は少々省略してもよい。

また、京都大学の入試問題ではグラフや地質断面図などを描かせる設問が例年多く出題されている。自分の手を動かして取り組んだ経験がないと答えづらいものである。過去問や模試でしっかりと練習を積んでおきたい。